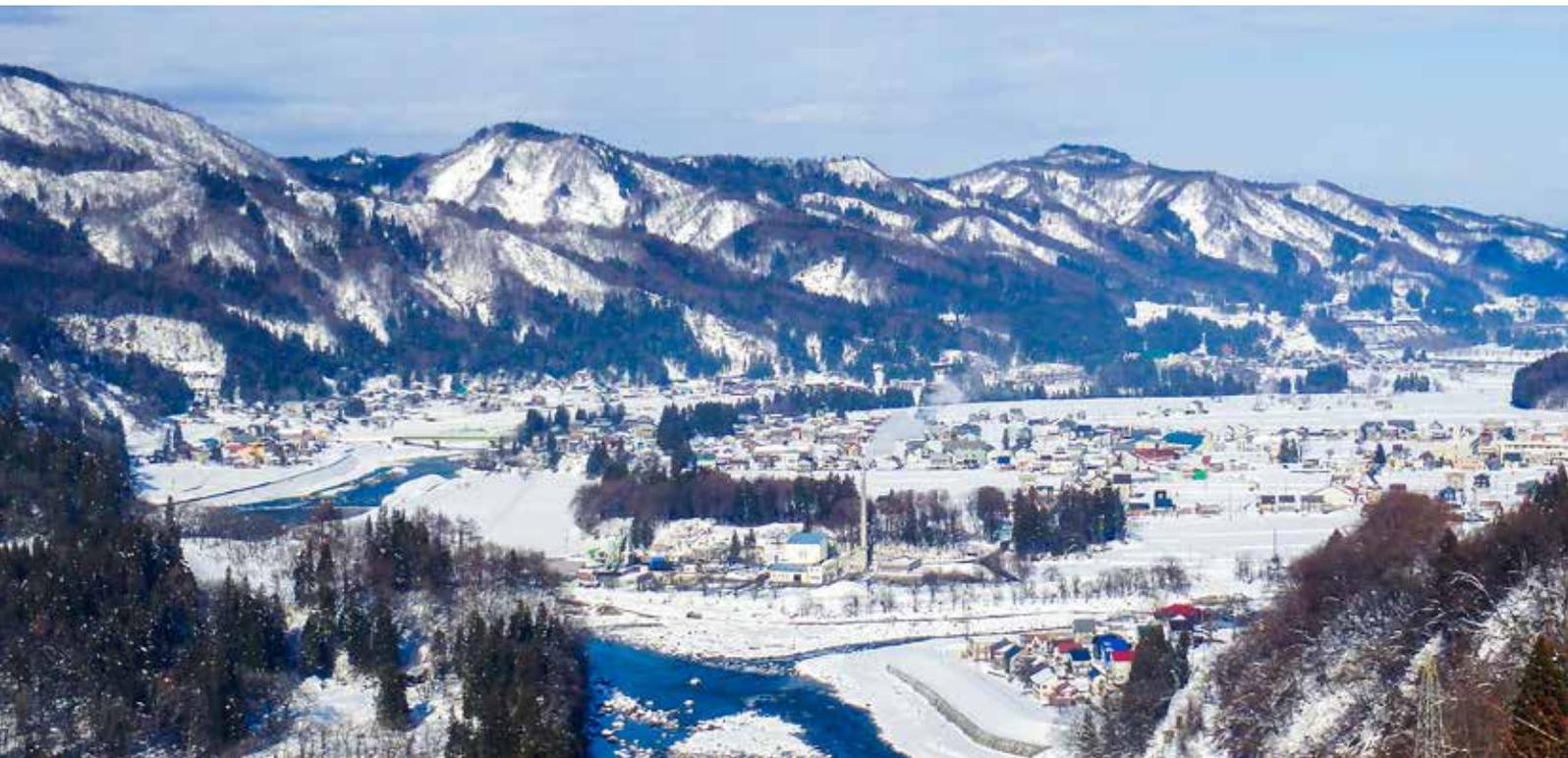


# しんりん

2022年1月号

vol.125

〒949-8311 新潟県中魚沼郡津南町中深見乙2176  
発行/津南町森林組合 TEL.025-765-2510



信濃川と町中心地

## 新年のお慶びを申し上げます

代表理事組合長 涌井 九八郎

組合員の皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的な蔓延が始まって既に二年が経とうとしています。今だ収束の見込みは立っていませんが、これ程長く続くと社会の変容も固定化してしまいうように感じています。

コロナ感染を防ぐため外出・外食を控えたことから、自宅での炊飯や調理が増えるかと思いきや、主食であるコメの消費は減り続け、片や冷凍食品や宅配食品、デリバリー調達等が急速に伸びているのが現状です。コロナを契機に更に食の外部化が進む一方、外食産業向けの農畜産物や食品は厳しい状況に置かれています。

当組合においてもコロナの影響は続いており、経営面においては厳しい状況に変わりはありませんが、この一年、極力経費の削減に努めるとともに業務の内容を見直して参りました。併せて森林環境譲与税による農地周辺森林整備事業も各集落のご協力を得ながら順調に推移しております。食品においても「チルドびじき煮」が伸び評価を頂いております。

本年もコロナ下の二年での経験を更に活かし、組合員各位の負託に応えられる組合経営を目指して参りますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。本年が組合員並びに多くの皆様にとりまして、より輝かしい年となりますようご祈念申し上げますご挨拶とさせていただきます。

# 「津南の森林を考える」

## 座談会

### 挨拶及び座談会主旨説明

二年に及ぶコロナ下、しかも年も押し迫った夕方の時間、「津南の森林を考える」というテーマでの座談会に快くご出席を頂き深く感謝申し上げます。また日頃より森林組合事業にご理解ご協力を頂き重ねてお礼申し上げます。

第二次世界大戦での大量の森林伐採と山地荒廃を経て、日本経済の成長とともに昭和三十年代から四十年代に掛けて日本全国で杉やヒノキなど針葉樹の植林が一行に行われました。私たちの住む津南においても同様です。

その植林から既に五十年以上が経とうとしており、木も成長し現在はその木を伐採し利用する時代に入っています。ところが、植林した目的は主に木造住宅の建築用にと考えてのことだったのですが、今の日本社会は高齢化と人口減少、都市部においては鉄骨造りなどの非木造化、そして外材の輸入などが影響し、建築用材として利用が年々減少しています。

### このような状況で木材価格

もピーク時の四分の一〜五分の一にまで価格低下し山林自体がお金になりません。従って山林に対する関心も薄れ管理も行き届かなくなっています。これは全国的に同じような状況で、このままだと台風や集中豪雨での災害要因になってしまふ恐れもあり、国では森林経営管理法を制定し、市町村が所有者に代って森林の管理ができるようになりました。

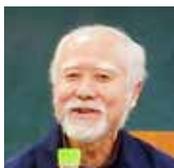
また一方では、地球温暖化防止を目的として二〇五〇年に向けてのカーボン・ニュートラルやSDGsの取り組みが急がれ、森林の役割も大きく期待されています。

そこで本日は、津南における森林の役割や三十年後百年後の森林の有り様、森林組合としての役割、国や県・町に期待すること等について皆さんのご意見・ご提案等を伺いたいと企画しました。率直なご発言をお願いしたいと思います。

若井専務より開会宣言し涌井組合長より挨拶、皆さんより自己紹介をいただいた後、座談会に入る

### 1 津南の森林は三十年後、百年後どのような姿であるべきと考えますか

**組合長** 私どもも長く生きていますと子供の頃と風景が変わってきています。森林も変わっています。果たして三十年後、五十年後、百年後はどのような姿になっているのか、ここに住み続けるとしたらどんな環境がいいのか想像してお話をしたいだけだからと思います。



**中島** 私は生産森林組合の代表を務めさせていただきます。ただいです。雑木林を切っ

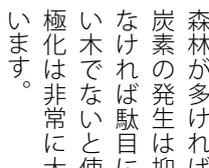
て植林して育てて伐採する作業を森林組合さんに委託していますが、あまりにも実入りが少ないと感じており、これが七十年八十年かけてやっとなんか売れる物になるのだけれども、その対価が出ない感じがします。木は二酸化炭素を吸収し成長量に比例します。五十年過ぎると成長が遅くなり二酸化炭素も吸収されなくなり木です。そういう木を吸収するわけです。

### 「津南の森林を考える」座談会出席者

- 中島正博さん** (百ノ木) 津南町森林整備推進委員会 委員長
- 宮野原郷** 生産森林組合 組合長
- 高橋紀久郎さん** (見玉) 山林所有者 一級建築士
- 内山 緑さん** (岡) 山林所有者 森林セラピスト
- 小山 尚之先生** 津南中等教育学校 教務主任 5学年担当
- 木内 蓮さん** 津南中等教育学校 5年生 森の三方良し
- 内山末有楽さん** 同上
- 大滝瑠華さん** 同上
- 宮内 桜さん** 同上
- 涌井九郎** 津南町森林組合 代表理事 組合長
- 若井岩雄** 同 専務理事 兼 森林木材部長
- 山田雄二** 同 森林木材部 部長 代理



**高橋** 森林を持つている方が二酸化炭素を吸収しているのですから森林所有者を有利にしないと残らないと思います。我々みたいに伐採して生活している者もいるわけです。その辺の価値観の違いを皆が理解しないとうまくいかない。



中島さんがおっしゃったとおり森林が多ければ多いほど二酸化炭素の発生は抑えられるが構わなければ駄目になる。しかし木でないと使えない、その二酸化炭素は非常に大きな問題だと思っています。



**内山(緑)** 森林は津南町にとって重要なことです。私は森林セラピストとして

資格があり、津南の樽田という所に町の所有林でブナ林が



**小山** 津南町の森林はもう少し人が管理できるような状態にしない

とうまく回っていかないといいと思います。日本の人口のかなりの方たちが都会に住んでいます。森林を知らないで過ぎていきます。都会の人たちが田舎に自然体験に来る事をやるといいのかなと思います。キョロ口さんとかはやっているので津南町でもやっ



であっても出来る政策にしないといけないと思います。

**小山** 森林はいろんな人に親しみを持たせることが大事だと思うので大地の芸術祭を利用するなり、津南町の祭りときに森林関係の何かをやるとか森林組合さんがやるかと思っています。

**宮内** 今日話を聞いてて私たちが知らない知識が沢山あったのでどんどん若い人たちに伝えたい方がいいと思います。イベントをする時も私たち森林に関わっている人達も巻き込んでやってほしいです。私の母の時代は森の木の実を食べたり森と関わりを持ってたこと聞いたので遠足のようなイベントを開いて、森は怖いイメージを払拭するのがいいと思います。

**大滝** イベントとか開けば知識を知りたいけど場がなかったりする人も行きやすいし、そこに町や学校が協力するともっといいと思います。津南の森林を含めた文化学習をするかと思っています。津南の振興計画に「文化学習伝えよう人と文化と大自然」のフレーズがあり、B評価でしたのでもう少し教育面で何かやってくれるかと思っています。町がやらないなら森林組合さんがやるかと思っています。

**組合長** 私どもの森林組合は食品加工、主に日本食研さんの商品が大部分です。以前は日本食

研さんの社員が大勢で研修に来てくれました。その際に竜ヶ窪などを案内しますが杉の木はなぜ曲がっているのかホウノキの葉について聞いても分からないわけです。私もどが作るの全部ビニール袋のパッケージですが四、五十年前はどうだったかというところも分からないので、今は分からない時代になっています。それを思うとどこかでそういう機会を持つことは大事だと思いました。

**山田** 町が三割が人工林ですが、その多くが三十年後には八十年生く九十年生となり伐期を迎えます。使える木使えない木があるわけですが、今のままだと使えない木が多いです。製材に出しているのは一割に満たない状態です。私的には観光資源から見ては広葉樹の方がいいと思いますが、広葉樹は手がからず手入れとか必要がないので仕事の面では成り立たない、都会から来て頂く分野ではいいと思います。今後個人の財産をどう管理していくかなんです、昨年

からさんさん計画を行っていましたが、なかなかどこまでどんな林でもいいかというところはなかなかない。補助金に頼らなくても出来るかという無理でしょうし、やはり森林組合で取りまとめてやるしかないと思います。また作業員増員のため募集をかけていますが十日町、津南町、栄村からは来ないので来年、農林公社主催の募集イベントがあるので行ってこようと思います。

**中島** 行政には森林の固定資産税を減免するように働きかけてもらいたい。杉の木もよく育つところと育たないところを振り分けて大型機械が入れるような植林地にしないと駄目だと思います。

**組合長** 残り時間も少なくなりましたが、これだけは話しておきたいことがあります。よろしくお願いします。

**内山(緑)** 今、私の林もどうするかわからないことですが、林業施策は今まで貧弱だったのが国でもって守る、森林の大切さをもっと広めていただきたいです。

**中島** もっと森林に親しむような教育にしてほしいです。

**高橋** 教育は大切です。  
**小山** 教育は凄く大事で子供たちに何を触れさせ提供するかで大きく変わります。人は提供してそれによって成長します。今

まで林業に対して光が当たってなかったところを津南町森林組合さんは一生懸命やってくださっているの、新潟県でも率先して何かやってくれたら良い循環が出来ると思います。学校や地域も活性化すると思うのでコラボしながらイベントなども参加させていただければと思います。

**組合長** 最後に生徒さんから一言お願いします。  
**宮内** 今日話を聞いて津南町の森林は深刻な状況を改めて知りました。ここにいる人間だけじゃなくて多くの人に知ってもらう事が大事だし、知るだけじゃなくそれに対する意見を持つことが大事だと思いました。私たちがやっている木育の進め方を考えました。

**大滝** 様々な立場の方からの話を聞いて杉の在り方というか植林の山への影響をしっかりと考えていかなければならないと思いました。日本は森林の国だと知っている人はいるけど実感となっていて知っている人はいるかというところ、そこはどうかと思います。実感することが大事だと思うので木育の有り方のプランを考えていかなければならないと思います。

**木内** 子供だけじゃ分からない事が沢山あって結構簡単に考えていたことも大人の人と話すこ

とによって法律はこうなんだよとか難しい事なんだなと思いましたが、森林組合さんは森林を愛されているし、大切なんだなと思いました。

**内山(未)** 木育を簡単に考えていたところもあるのもっと子供たちに森林は大切なんだと津南の景色は当たり前じゃなく美しいと伝えるべきだと思います。自然が美しいと誇りをもっていけるようにしていかなきゃならないと思います。

**組合長** 有難うございました。これを機にまた開催したいと思います。



## 特産部 WEB ミーティングの充実

令和2年、コロナ禍へ突入。業績の悪化に加え、私たちは身動きの取れない「もどかしさと閉塞感」に見舞われました。しかし、いつまでも上手く行かない言い訳を感染症に転嫁する事は許されません。

昨年4月からリモート環境を整備し、WEB会議や講習会等への参加で活用しています。QCサークル研修やお得意先様とのコミュニケーション…緊急事態宣言下でも大活躍！中でも日本食研様との定例、「クレームゼロミーティング」は10回目を迎えます。



オンライン通信のメリットは…事前準備と計画された進捗でムダな時間がなくなります。これらの手順は、対面での商談 / 打合せ / 交渉でも効果的。但し、オンラインではムダと感じた「間」が、事の重大さを知ったりヒラメキを生むきっかけになる事も…。対面とオンライン、双方の強みを生かして実りあるコミュニケーションを会得したいものです。

### ●きのこ部●

なめこが  
出来るまで

## なめこ共選場作業工程

- ① **原料検収** …………… 町内の生産者の皆様からお預かりしたなめこを受け入れ、検収します。計量ミスが無い様に注意しています。

- ② **共選作業（投入～選別）** ………

供給コンベアへなめこを投入し、水洗い作業を行います。この段階で洗浄とサイズ選別が行われます。



- ③ **共選作業（箱詰め）** 自動計量機で100gに計量し、包装機でパック詰めされます。

手作業で入数を間違えない様に段ボールに梱包しています。

スタンドパック商品などは手作業で1つ1つ丁寧に作っています。



- ④ **冷蔵庫へ** ……………

1台車に規定数を乗せたら、すぐさま製品冷蔵庫へ運びます。

- ⑤ **清掃作業** ……………

1日の製造終了後、各稼働機械を手洗い及び高圧洗浄機で清潔にします。洗い残しが無い様に気を付けています。

- ⑥ **ミーティング** ……………

製造内容を販売課と打合せし、翌日の段取りを考えます。

※衛生的な工場で、各生産者のなめこを取り扱っています。

# 薬用植物編



## <その15> チドメグサ

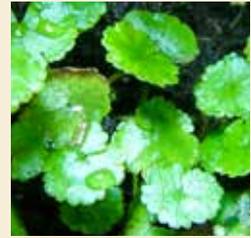
春雪が融け周りの山々が緑一色になる頃、湿気の幾分多い道端や田の畔には地面に貼りつくように1.5センチ程の葉を持つチドメグサが生えてきました。緑色の強い草で草丈は極めて短く、一面に広がって畑に入ることもあります。草刈りの必要もなく農家にとってはそれほど困らない草ともいえるのです。

しかしながら、近年は除草剤の使用が多くチドメグサの群生は少なくなったように感じていました。ところが、昨秋当間リゾートのゴルフ場に

行った折、一面に広がっているのを見ることができ、改めて感じ入った次第です。

効能と利用方法は字の通りで、古くから血止めに用いられて来たようで、この草の汁が止血効果をもたらすと云われています。資料には生葉を搗り潰し、汁を傷口に塗り込めるとありますが、私たちが子供の頃ススキの葉や小刀で手足を切ると、大きな傷は手拭を裂いて、小さな傷はこのチドメグサの葉を採ってツルツルした表面を傷口に当て貼り付けて直したものです。

傷口に貼りつけるのはこの地方だけかと思っていたら全国で同じように利用していたらしいのです。



## お知らせ

役員任期満了に伴う役員改選が下記の日程で行われます。

ご多忙中とは存じますが、ご協力をお願い申し上げます。

- ・1月30日(日)役員推薦人地区選出会議  
正組合員様にハガキで連絡いたします
- ・2月13日(日)第20期役員推薦会議  
役員推薦人に選任された方
- ・3月20日(日)第55回通常総代会
- ・3月20日(日)現役員任期満了

## 製材閉鎖

## ありがとうございました

製材部門の操業は昭和47年。

世の中新築ブームの中、組合員の立木を伐採して自宅新築の賃挽き加工が主でした。

平成二年には製材・木工部門で4億5000万円の販売を最高に、外材の輸入自由化、少子高齢化等で近年は厳しい経営が続きました。加えて、地元木材での建築材加工が激減したことが理由で、前年末をもって製材部門を閉鎖させていただきました。工務店様はじめ多くの皆様から残念とお言葉をいただきましたが、やむを得ない決断です。

お取り持ちいただいた建築業者様、組合員様、製材・木工OBの皆様、49年間、長きにわたりお世話になり、ありがとうございました。

## 職員募集

(食品、きのこ、森林)

## 津南町森林組合で一緒に働いてみませんか!

工場見学できますのでお気軽にご連絡ください

総務部 津端まで TEL 025-765-2510



## あとかき



新年あけましておめでとうございます。

年末年始、どのように過ごされたでしょうか?私は毎年のことですが、飲み過ぎてしまい反省しているところです。今年は飲み過ぎないことを目標(いつまで続くかわかりませんが…)頑張りたいと思います。

今年も皆様にとって、良い年でありますように…

## 職員紹介

● 特産部 ●

石澤 菜穂

(津南町大赤沢)



組合に入って5年目、特産部の選別工程で品質や計量等の確認を担当、「みんなと楽しく仕事ができることが嬉しい。」と日々頑張っている。高校時代は華道部で小原流をたしなんだ一面も。コロナがあけたら大好きなジャニーズのコンサートやディズニーにたくさん行くのが楽しみ。目指していることは健康に気をつけて幸せに過ごすこと。好きな言葉は「感謝」。マイペースで心配性というのが自己分析。「仕事を確実に責任を持ってやってくれるので任せられます。」と上司の評価。はにかむような笑顔がとてもかわいい菜穂ちゃんです。